

年休付与日数は間違っていた！

管理者はミスを認め直ちに謝罪しろ

就業規則も知らない管理者に、社員管理をする資格はない

名古屋駅の組合員は、職場復帰時に今年度の年休付与日数が10日と管理者から説明されました。彼は、少ない年休で来年4月まで計画を立てていました。しかし、10月25日突然管理者から、年休付与は実は5日だったことが知らされ、そのため今後の計画が大きく変更せざる得なくなりました。

社員のミスに対してはどんな小さなミスも許さない会社

その後こんな重要なことを間違っておきながら 何の謝罪もありません。社員のミスはどんな小さなことでも徹底的に責任追及をする会社なのに、管理者のミスは知らんぷりです。こんなことが許せるはずがありません。

組合員の対場で会社に抗議

私たち東海労は今後の生活設計を壊された組合員の立場にたって、10月27日「申第10号」で、会社に申し入れを行いました。簡単な説明をして、この問題を終わらせようとしている会社を許さず管理者の謝罪を要求します。

年休問題についての申し入れ

1. 組合員に駅長から謝罪をすること
2. 担当の管理者はなぜ間違っ、説明をしたのか経緯をあきらかにすること
3. 組合員は10月1日以前に職場復帰が可能と伝えていたにもかかわらず、なぜ10月5日になった経緯を明らかにすること。
4. 当初説明があった、10日間の年休を付与すること
5. 出勤率で年休付与日数を制限するのを止めること